

平成19年9月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）



平成19年2月8日

上場会社名 日本ファルコム株式会社

(コード番号 3723 東証マザーズ)

(URL <http://www.falcom.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山崎伸治 TEL：(042) 527-0555

責任者役職・氏名 取締役コーポレートユニット部長 阿部敬史

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 四半期財務諸表の作成基準 : 中間財務諸表作成基準  
 ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 会計監査人の関与 : 有

四半期財務諸表については、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続きを受けております。

2. 平成19年9月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年10月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況

(単位：百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年9月期第1四半期	458	31.7	197	186.5	197	186.8	116	187.5
平成18年9月期第1四半期	347	△16.3	68	△69.5	68	△69.6	40	△69.5
(参考) 平成18年9月期	1,076		155		155		98	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年9月期第1四半期	1,151	83	1,138	50
平成18年9月期第1四半期	405	72	399	50
(参考) 平成18年9月期	975	16	961	81

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当社はコンテンツメーカーとして、パソコン向けゲームソフト、家庭用ゲーム機向けゲームソフト及び携帯電話機向けゲームソフト等の制作、販売及びライセンスビジネスを積極的に推し進めてまいりました。

その結果、当第1四半期におきましては、パソコン向け新作ゲームソフトを1タイトル発売し、売上高は458百万円(前年同期比31.7%増)、経常利益は197百万円(同186.8%増)、第1四半期純利益は116百万円(同187.5%増)となりました。

部門別の概況は以下の通りであります。

①製品部門

製品部門におきましては、平成18年12月にパソコン向けゲームソフト「イース・オリジン」を発売しました。「イース・オリジン」は、当社の人気タイトル「イース」の最新作であり、「イース」の深い世界観と爽快なアクション等が高い評価を得ており、販売状況は順調に推移致しました。

その他、平成18年9月に発売したPSP向けゲームソフト「空の軌跡FC」も好評であり、当第1四半期におきましても堅調に販売本数を伸ばしました。

これらの製品販売により、製品部門の当第1四半期の売上高は379百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

②ライセンス部門

ライセンス部門におきましては、主に北米、韓国、中国向けのライセンス収入が好調であり、ライセンス部門の当第1四半期の売上高は78百万円（前年同期比92.4%増）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(単位：百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成19年9月期第1四半期	1,618	1,369	84.6	13,488	29
平成18年9月期第1四半期	1,452	1,253	86.3	12,383	93
(参考) 平成18年9月期	1,426	1,313	92.0	12,936	46

(3) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年9月期第1四半期	165	△0	△48	1,131
平成18年9月期第1四半期	△69	—	△51	952
(参考) 平成18年9月期	0	△1	△58	1,014

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、117百万円増加し、当第1四半期末には1,131百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動の結果増加した資金は165百万円となりました。

これは主として、売上債権が109百万円増加しましたが、税引前第1四半期純利益を197百万円計上したことや、未払金等負債が86百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果減少した資金は271千円となりました。

これは、開発機器等の取得が271千円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果減少した資金は48百万円となりました。

これは、配当金の支払額が48百万円あったためであります。

3. 平成19年9月期の業績予想（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間	650	200	120
通期	1,100	150	90

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）886円70銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当社は引き続きオリジナルコンテンツの制作、販売とそれらコンテンツのライセンスビジネスを積極的に行ってまいります。

当期の製品部門におきましては、平成18年12月発売のパソコン向けゲームソフト「イース・オリジン」をはじめ、当社人気シリーズの新作の制作、発売及びマルチプラットフォーム展開を推し進めてまいります。

また、ライセンス部門におきましては、オンラインゲーム、携帯電話機向けゲームソフト、海外販売向けゲームソフトへのライセンス提供を推し進め、当社コンテンツをより多くの方に楽しんで頂ける様に努めてまいります。

オンラインゲームにつきましては、業務提携先の韓国CJ Internet Corp. 社が開発中の「イースオンライン」が当期中に韓国でサービスを開始する計画です。

当社ゲームソフトの携帯電話機向け配信につきましては、(株)タイトーとの業務提携によりハイスペックの3G携帯電話機向けのリッチコンテンツとして配信しており、イースシリーズでは累計70万ダウンロードを突破するなど、幅広いユーザー層に支持されております。ハイスペックの3G携帯電話機向けゲーム配信市場は、端末の機能向上により急速に盛り上がりを見せており、当社ゲームソフトの需要も根強いことから、当期におきましては提供するタイトル数を更に増加させ、市場シェアの拡大に努めてまいります。

海外市場におきましては、北米、欧州向けに自社PSP製品のローカライズ版の発売を予定している他、アジア地域ではパソコン向けパッケージのローカライズ版の発売タイトルを増加させる計画です。

以上の取り組みにより、平成19年9月期の業績は売上高1,100百万円、経常利益150百万円、当期純利益90百万円を見込んでおります。

当期の業績予想に関しましては、中間期の売上高の比重が高いことから、中間期の経常利益、当期純利益の予想額が、それぞれ通期の予想額を上回っております。また、通期の当期純利益は前期並みの水準を見込んでおりますが、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保資金の確保を優先させて頂くため、当期の配当につきましては誠に遺憾ながら無配とさせて頂く予定です。

(※)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。

#### 4. 配当状況

・現金配当	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
18年9月期	—	600.00	600.00
19年9月期(実績)	—	—	—
19年9月期(予想)	—	—	—

## 5. 四半期財務諸表

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	平成18年9月期 第1四半期末 (平成17年12月31日現在)		平成19年9月期 第1四半期末 (平成18年12月31日現在)		前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成18年9月30日現在)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)			%		%		%
I	流動資産						
	1. 現金及び預金	952,253		1,131,187		1,014,090	
	2. 売掛金	294,917		281,232		171,501	
	3. たな卸資産	14,727		13,202		14,739	
	4. 前払費用	4,762		5,595		5,663	
	5. 繰延税金資産	3,832		6,085		4,086	
	6. 未収還付法人税等	—		—		35,117	
	7. その他	719		125		154	
	貸倒引当金	△189		—		△119	
	流動資産合計	1,271,023	87.5	1,437,428	88.8	1,245,234	87.3
II	固定資産						
	1. 有形固定資産 ※1	4,274	0.3	4,462	0.3	4,611	0.3
	2. 無形固定資産						
	(1) ソフトウェア	526		612		684	
	(2) ソフトウェア仮勘定	150,000		150,000		150,000	
	(3) 電話加入権	757		757		757	
	無形固定資産合計	151,283	10.4	151,369	9.3	151,441	10.6
	3. 投資その他の資産						
	(1) 繰延税金資産	433		79		106	
	(2) 敷金保証金	25,981		25,181		25,181	
	投資その他の資産合計	26,414	1.8	25,260	1.6	25,287	1.8
	固定資産合計	181,973	12.5	181,092	11.2	181,339	12.7
	資産合計	1,452,996	100.0	1,618,521	100.0	1,426,573	100.0

(単位：千円)

科 目	平成18年9月期 第1四半期末 (平成17年12月31日現在)		平成19年9月期 第1四半期末 (平成18年12月31日現在)		前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成18年9月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%		%
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 買掛金	37,987		38,492		29,759	
2. 未払金	103,443		122,417		46,733	
3. 未払費用	12,865		11,300		11,943	
4. 未払法人税等	17,586		47,594		—	
5. 未払消費税等	7,457		13,660		7,167	
6. 前受金	4,445		—		—	
7. 預り金	11,138		11,495		4,419	
8. 賞与引当金	4,200		4,500		13,500	
流動負債合計	199,123	13.7	249,549	15.4	113,523	8.0
負債合計	199,123	13.7	249,549	15.4	113,523	8.0
(資本の部)						
I 資本金	161,030	11.1	—	—	—	—
II 資本剰余金						
1. 資本準備金	316,263		—		—	
資本剰余金合計	316,263	21.8	—	—	—	—
III 利益剰余金						
1. 任意積立金	710,000		—		—	
2. 第1四半期末処分利益	66,579		—		—	
利益剰余金合計	776,579	53.4	—	—	—	—
資本合計	1,253,872	86.3	—	—	—	—
負債資本合計	1,452,996	100.0	—	—	—	—
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	—	—	161,530	10.0	161,530	11.3
2. 資本剰余金						
(1) 資本準備金	—		316,763		316,763	
資本剰余金合計	—	—	316,763	19.6	316,763	22.2
3. 利益剰余金						
(1) その他利益剰余金						
別途積立金	—		710,000		710,000	
繰越利益剰余金	—		180,768		124,757	
利益剰余金合計	—	—	890,768	55.0	834,757	58.5
株主資本合計	—	—	1,369,061	84.6	1,313,050	92.0
純資産合計	—	—	1,369,061	84.6	1,313,050	92.0
負債純資産合計	—	—	1,618,521	100.0	1,426,573	100.0

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)		平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%		%
I 売上高		347,906	100.0	458,161	100.0	1,076,468	100.0
II 売上原価		52,034	15.0	47,286	10.3	148,542	13.8
売上総利益		295,872	85.0	410,874	89.7	927,926	86.2
III 販売費及び一般管理費		227,009	65.2	213,588	46.6	772,428	71.8
営業利益		68,862	19.8	197,285	43.1	155,497	14.4
IV 営業外収益		—	—	—	—	104	0.0
V 営業外費用	※1	72	0.0	—	—	226	0.0
経常利益		68,789	19.8	197,285	43.1	155,375	14.4
VI 特別利益		—	—	119	0.0	5	0.0
税引前第1四半期(当期)純利益		68,789	19.8	197,405	43.1	155,381	14.4
法人税、住民税及び事業税		17,076	4.9	82,466	18.0	45,416	4.2
法人税等調整額		11,053	3.2	△1,972	△0.4	11,126	1.0
第1四半期(当期)純利益		40,659	11.7	116,911	25.5	98,837	9.2
前期繰越利益		25,919					
第1四半期末処分利益		66,579					

## (3) 四半期株主資本等変動計算書

当第1四半期会計期間(自平成18年10月1日至平成18年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		株主資本 合計	
		資本 準備金	その他利益剰余金			
			別途 積立金	繰越利益 剰余金		
平成18年9月30日残高	161,530	316,763	710,000	124,757	1,313,050	1,313,050
第1四半期会計期間中の変動額						
剰余金の配当(注)				△60,900	△60,900	△60,900
第1四半期純利益				116,911	116,911	116,911
第1四半期会計期間中の変動額合計				56,011	56,011	56,011
平成18年12月31日残高	161,530	316,763	710,000	180,768	1,369,061	1,369,061

(注) 平成18年12月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	平成18年9月期 第1四半期	平成19年9月期 第1四半期	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー 計算書
		(自 平成17年10月1日 至 平成17年12月31日)	(自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日)	(自 平成17年10月1日 至 平成18年9月30日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前第1四半期(当期)純利益		68,789	197,405	155,381
減価償却費		581	491	2,494
貸倒引当金の増加額(△減少額)		64	△119	△5
賞与引当金の減少額		△9,800	△9,000	△500
受取利息及び受取配当金		—	—	△104
新株発行費		72	—	—
株式交付費		—	—	226
売上債権の減少額(△増加額)		△118,659	△109,731	310
たな卸資産の減少額(△増加額)		△2,968	1,536	△2,980
その他資産の減少額(△増加額)		△39	98	△376
仕入債務の増加額		21,222	8,733	12,994
未払金の増加額		65,422	63,022	16,438
未払消費税等の増加額(△減少額)		△9,346	6,493	△9,636
その他負債の増加額(△減少額)		5,636	7,252	△1,811
小計		20,976	166,182	172,430
利息及び配当金の受取額		—	—	104
法人税等の支払額		△90,383	△575	△171,619
営業活動によるキャッシュ・フロー		△69,406	165,607	914
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		—	△271	△2,008
無形固定資産の取得による支出		—	—	△398
敷金保証金の解約による収入		—	—	800
投資活動によるキャッシュ・フロー		—	△271	△1,606
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による収入		327	—	1,173
配当金の支払額		△51,896	△48,238	△59,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		△51,569	△48,238	△58,447
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)		△120,976	117,097	△59,139
V 現金及び現金同等物の期首残高		1,073,229	1,014,090	1,073,229
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末(当期末)残高		952,253	1,131,187	1,014,090

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項

期 別 項 目	平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
1. 資産の評価基準及び評価方法	たな卸資産 製品・原材料 先入先出法による原価法を 採用しております。	たな卸資産 製品・原材料 同左	たな卸資産 製品・原材料 同左
2. 固定資産の減価償却の方法	(1)有形固定資産 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以 下のとおりであります。 器具備品 5年～12年 (2)無形固定資産 自社利用のソフトウェアに ついては、社内における利用 可能期間(5年)に基づく定 額法によっております。	(1)有形固定資産 同左  (2)無形固定資産 同左	(1)有形固定資産 同左  (2)無形固定資産 同左
3. 繰延資産の処理方法	新株発行費 支出時に全額費用として処 理しております。	—————	株式交付費 支出時に全額費用として処 理しております。 (会計方針の変更) 当事業年度より「繰延資産 の会計処理に関する当面の取 扱い」(企業会計基準委員会 実務対応報告第19号 平成18 年8月11日)を適用しており ます。 新株発行費は、当事業年度 より株式交付費として表示し ております。
4. 引当金の計上基準	(1)貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に 備えるため、一般債権につ いては貸倒実績率により、貸倒 懸念債権等特定の債権につ いては個別に回収可能性を検 討し、回収不能見込額を計上 しております。 (2)賞与引当金 従業員に対して支給する賞 与の支出に充てるため、支給 見込額に基づき計上しており ます。	(1)貸倒引当金 同左  (2)賞与引当金 同左	(1)貸倒引当金 同左  (2)賞与引当金 同左



期 別 項 目	平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日) (至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日) (至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日) (至平成18年9月30日)
5. 第1四半期キャッシュ・フロー計算書(キャッシュ・フロー計算書)における資金の範囲	手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	同左	同左
6. その他四半期財務諸表(財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左

会計方針の変更

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日) (至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日) (至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日) (至平成18年9月30日)
—	—	(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準) 当事業年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号平成17年12月9日)を適用しております。 従来の資本の部の合計に相当する金額は1,313,050千円であります。

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

平成18年9月期 第1四半期末 (平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期末 (平成18年12月31日)	前事業年度末 (平成18年9月30日)
※1. 有形固定資産の減価償却累計額 10,679千円	※1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,772千円	※1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,352千円

(四半期損益計算書関係)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
※1. 営業外費用のうち主要なもの 新株発行費 72千円 2. 減価償却実施額 有形固定資産 429千円 無形固定資産 152	※1. ———— 2. 減価償却実施額 有形固定資産 420千円 無形固定資産 71	※1. 営業外費用のうち主要なもの 株式交付費 226千円 2. 減価償却実施額 有形固定資産 2,107千円 無形固定資産 393

(四半期株主資本等変動計算書関係)

当第1四半期会計期間(自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度末 株式数(株)	当第1四半期間増加 株式数(株)	当第1四半期間減少 株式数(株)	当第1四半期間末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	101,500	—	—	101,500
合計	101,500	—	—	101,500

2. 新株予約権に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当第1四半期間末残高(千円)
		前事業年度末	当第1四半期間増加	当第1四半期間減少	当第1四半期間末	
第1回新株予約権	普通株式	1,300	—	—	1,300	—
第2回新株予約権	普通株式	50	—	—	50	—

3. 配当に関する事項

(1) 配当金の支払

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成18年12月20日 定時株主総会	普通株式	60,900千円	600円	平成18年9月30日	平成18年12月21日

## (第1四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
現金及び現金同等物の第1四半期末残高と 四半期貸借対照表に掲記されている科目の 金額との関係 現金及び預金 <u>952,253</u> 千円 現金及び現金同等物 <u>952,253</u>	現金及び現金同等物の第1四半期末残高と 四半期貸借対照表に掲記されている科目の 金額との関係 現金及び預金 <u>1,131,187</u> 千円 現金及び現金同等物 <u>1,131,187</u>	現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照 表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 <u>1,014,090</u> 千円 現金及び現金同等物 <u>1,014,090</u>

## (リース取引関係)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
当社はリース取引を行っておりませ んで、該当事項はありません。	同左	同左

## (有価証券関係)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
当社は有価証券を保有しておりませ んで、該当事項はありません。	同左	同左

## (デリバティブ取引関係)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
当社はデリバティブ取引を行っておりませ んで、該当事項はありません。	同左	同左

## (持分法損益等)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
該当事項はありません。	同左	同左

## (1株当たり情報)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
1株当たり純資産額 12,383円93銭 1株当たり第1四半期純利益 405円72銭 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益 399円50銭	1株当たり純資産額 13,488円29銭 1株当たり第1四半期純利益 1,151円83銭 潜在株式調整後1株当たり第1四半期純利益 1,138円50銭	1株当たり純資産額 12,936円46銭 1株当たり当期純利益 975円16銭 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 961円81銭

(注) 1株当たり第1四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益の算定上の基礎

期別 項目	平成19年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
1株当たり第1四半期(当期)純利益 第1四半期(当期)純利益 普通株主に帰属しない金額 普通株式に係る第1四半期(当期)純利益 期中平均株式数	40,659千円 — 40,659千円 100,217株	116,911千円 — 116,911千円 101,500株	98,837千円 — 98,837千円 101,356株
潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益 普通株式の増加数 (うち新株子約権)	— 1,558株 (1,558株)	— 1,189株 (1,189株)	— 1,406株 (1,406株)
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり第1 四半期(当期)純利益の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—	—	—

## (重要な後発事象)

平成18年9月期 第1四半期 (自平成17年10月1日 至平成17年12月31日)	平成19年9月期 第1四半期 (自平成18年10月1日 至平成18年12月31日)	前事業年度 (自平成17年10月1日 至平成18年9月30日)
該当事項はありません。	同左	同左